



授業改善に向けた具体的工夫				
内容を読み取る力	音読・朗読	読書活動	生活・総合との関連	評価活動の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>時間や事柄の順序を考え読む。</li> <li>登場人物の行動を想像を広げながら読む。</li> <li>段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む。</li> <li>指示語、接続語に注させ、文章や段落の関係を読む。</li> <li>事実と考えなどを区別し、自分の考えを明確にして読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話せるようにする。</li> <li>内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読させる。</li> <li>自分の思いや考えが伝わるように音読・朗読させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読み聞かせ」の実践に取り組む。</li> <li>「学級文庫」を充実させ、いつでも、読みたい本が読めるようにする。</li> <li>面白い本の紹介、読書カードの活用などにより読む楽しさを知り、本をたくさん借りるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を読むようにする。</li> <li>表現したり理解したりするために、文字や語句について、調べる方法や習慣を付けさせる。</li> <li>敬語の使い方に慣れ、比喻や反復などの表現の工夫に気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標・内容・方法・評価の一体化（指導と評価の計画）を図る。</li> <li>単元の評価規準を活用し、評価項目、評価方法を工夫する。</li> <li>授業過程における評価を充実させる。座席表型の個人評価表を用いる。</li> </ul>